

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日)

令和8年5月14日(木)

公益財団法人DNP文化振興財団

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 アーカイブ関連事業

(1) 田中一光アーカイブ

①本人作品ポスター	2,753 点
版画	258 点
エディトリアル	2,033 点
原画類	3,566 点
その他 (パンフ/V.I.等)	3,305 点
②資料写真	28,005 点
その他資料類	2,767 点
③他作家作品ポスター・版画等	1,155 点
その他、蒐集美術品	481 点
④蔵書	12,387 点

(2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

①本人作品ポスター	1,576 点
版画	178 点
原画類	979 点
その他 (クラフト作品等)	530 点
②資料 書籍等	597 点
③他作家作品ポスター・版画	2,571 点

(3) 永井一正作品アーカイブ

①本人作品ポスター	979 点
版画	331 点
エディトリアル	1,265 点
原画類	799 点
その他 (V.I.等)	741 点
②資料 作品ポジ	647 点
その他資料類	2,176 点
③他作家作品ポスター・版画等	152 点
その他 (蔵書等)	71 点

(4) ポスターアーカイブ (令和8年3月末現在)

1 収蔵作家：247名 (国内作家127名 海外作家120名)

2 総点数：25,297点

3 令和7年度の受入れ状況：

長谷川好男ポスター 59点

デンマーク・ポスター・ミュージアム(オーフス) 展覧会ポスター 110点

計 169点

(5) アーカイブ作品の貸出

① 島根県立石見美術館／国立新美術館

「生誕100年 森英恵 ヴァイタル・タイプ」

会期：令和7年9月20日(土)～12月1日(火)／令和8年4月15日(水)～7月6日(月)

概要：田中一光アーカイブ収蔵ポスター7点および森英恵関連資料10種24点を貸出

② 渋谷区立松濤美術館

「井上有一の書と戦後グラフィックデザイン1970s-1980s」

会期：令和7年9月6日(土)～11月3日(月)

概要：田中一光ポスターおよびブックデザインならびに浅葉克己ポスター計11点を貸出

③ ボローニャ考古学博物館(イタリア)

「グラフィック・ジャパン。北斎からマンガまで」(Graphic Japan. From Hokusai to Manga)

会期：令和7年11月20日(木)～令和8年4月6日(月)

概要：19作家のポスター計61点を貸出

④ デンマーク・デザインミュージアム(コペンハーゲン)

「Japan Modern Poster」

会期：令和8年2月6日(金)～8月9日(日)

概要：48作家のポスター計110点を貸出

(6) アーカイブ作品の寄贈

① 富山県美術館

時期：令和7年11月

概要：石岡瑛子ポスター151点寄贈

② シネマテーク・フランセーズ(フランス、パリ)

時期：令和8年1月

概要：石岡瑛子ポスター34点寄贈

2 展示関連事業

(1) ギンザ・グラフィック・ギャラリー (ggg) の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル 1階、地下1階
日曜・祝日休館、開館時間：午前 11：00～午後 7：00、入場無料

■第 407 回 TDC 2025

会 期： 2025 年 4 月 4 日 (金) ～5 月 17 日 (土)

入場者： 10,645 人、一日平均 313 人

東京タイプディレクターズクラブが主催する、グラフィックデザインの国際コンペティション展です。令和 7 年に 35 回目を迎えました。今回は、国内外からの応募 3,590 作品の中から選ばれた受賞作品とノミネート作品を中心に、合計 126 点を展示しました。デザイン系専門学校や大学など、団体での来場も多く見られました。



■第 408 回 アイデンティティシステム：1945 年以降 西ドイツのリブランディング

会 期： 2025 年 5 月 27 日 (火) ～7 月 5 日 (土)

入場者： 9,043 人、一日平均 258 人

令和 6 年に京都 d d d ギャラリーにて好評を博した企画展の巡回展です。デザイン・アーカイブ「A5 コレクション・デュッセルドルフ」所蔵のデザイン・マニュアルなどの一次資料によって、企業や自治体のビジュアル・アイデンティティ・デザインを紹介し、戦後の西ドイツの驚異的躍進を支えたデザイン・ソリューションの発展を検証しました。



■特別展 2025 JAGDA 亀倉雄策賞・新人賞展

会 期： 2025 年 7 月 15 日 (火) ～8 月 27 日 (水)

入場者： 7,676 人、一日平均 213 人

公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 (JAGDA) が主催する「亀倉雄策賞」と「JAGDA 新人賞」の受賞作品展です。ギャラリー 1 階では亀倉雄策賞を受賞した林規章氏の作品を、地階では新人賞を受賞した城崎哲郎氏、サリーン・チェン氏、松田洋和氏の作品を紹介しました。

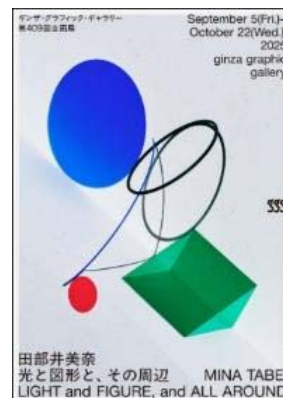


■第 409 回 田部井美奈 光と図形と、その周辺

会 期： 2025 年 9 月 5 日（金）～10 月 22 日（水）

入場者： 9,711 人、一日平均 256 人

写真をグラフィックに取り入れた「光と図形」をコンセプトにした独自の作品で注目を集めているアートディレクター・グラフィックデザイナー田部井美奈氏の個展です。1階では、ブックデザインやパッケージ、ロゴデザイン、ポスターなどのグラフィックワークの代表作を、地階では「光と図形」の最新作を展示しました。



■第 410 回 日本のアートディレクション展 2025

会 期： 2025 年 10 月 31 日（金）～11 月 29 日（土）

入場者： 7,426 人、一日平均 309 人

毎年恒例の東京アートディレクターズクラブ（ADC）年次公募展です。今年も約 6,000 点の応募作の中から選ばれた受賞作品、優秀作品約 130 点を展示しました。ADC 賞は日本の広告・グラフィックデザインの先端の動向を反映する賞として、国内外の注目を集めています。



■第 411 回 中村至男 オン グラフィック

会 期： 2025 年 12 月 9 日（火）～2026 年 1 月 31 日（土）

入場者： 7,679 人、一日平均 208 人

グラフィックデザイナー、中村至男氏の個展です。1990 年代から鮮烈な視覚世界の表現で注目されてきた中村氏の作品は、ミニマムな表現と多角的な視点の面白さが共通する魅力となっています。これまで手掛けてきた広告や音楽業界の仕事、動画、絵本などの代表作と、本展のために制作された新作をランダムに織り交ぜながら紹介しました。



■第 412 回 ポーランドの巨匠 ヤン・レニツァ：ポスター、アニメーション、イラストレーション、舞台

会 期： 2026 年 2 月 12 日（木）～3 月 26 日（木）

入場者： 5,546 人、一日平均 158 人

20 世紀のポーランドを代表するグラフィックデザイナー、ヤン・レニツァ（1928～2001）の回顧展です。1928 年、ポーランド・ポズナン生まれのレニツァは、ワルシャワ、パリ、ベルリンなどに移り住みながら、ポスター・アニメーション・風刺画・舞台デザインなど多分野で活躍しました。日本初公開を含む名作の数々を、ポズナン国立美術館のアーカイブから借用・展示しました。



(2) 京都 d d d ギャラリー (d d d) の展示

〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 620 COCON 烏丸 3F
月曜・祝日の翌日休館、開館時間：午前 11：00～午後 7：00、入場無料

■第 246 回 書藝問道：ブックデザイナー呂敬人の軌跡

会 期： 2025 年 4 月 10 日 (木)～6 月 4 日 (水)

入場者： 2,321 人、一日平均 49 人

現代中国のブックデザインを代表するデザイナー、呂敬人氏の個展です。g g g から巡回しました。宋代の拓本を原寸大復刻した『朱熹榜書千字文』や全長 10m の巻物 10 巻を納めた『絵図五百羅漢詳解』、解説を読みながら実際に囲碁が打てる『忘憂清染集』等の趣向を凝らした豪華本その他、茶や扇子といった中国の芸術文化や生活文化に関する多彩な書物を、作家自身による丁寧な解説とともに展示しました。

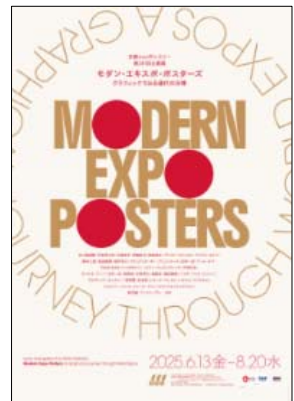


■第 247 回 モダン・エキスポ・ポスターズ：グラフィックでみる現代の万博

会 期： 2025 年 6 月 13 日 (金)～8 月 20 日 (水)

入場者： 11,306 人、一日平均 188 人

大阪・関西で開催された万博を記念し、ポスターから戦後の万博のテーマや個性を振り返る展覧会を、大日本印刷との共催で開催しました。出品作品は財団所蔵品を中心に、博覧会国際事務局 (パリ)、万博博物館 (上海)、乃村工藝社からの借用資料で構成しました。2025 年の万博のデザインに関する展示は SNS を中心に大きな注目を浴び、歴代最多の来場者を集めました。



■第 248 回 フェリックス・ベルトラン コネクション：ハバナ ニューヨーク 大阪

メキシコ マドリード 京都

会 期： 2025 年 8 月 29 日 (金)～10 月 29 日 (水)

入場者： 2,929 人、一日平均 57 人

イベロアメリカ (中南米のスペイン語・ポルトガル語圏) の現代グラフィックデザインを牽引したキューバ人デザイナー、フェリックス・ベルトラン (1938～2022) の回顧展です。生前親交のあった福田繁雄氏旧蔵のベルトラン作品と関連資料も出品しました。日本で紹介されることが珍しいキューバのグラフィックデザイン展のため、アート・デザイン系以外のメディアからも注目されました。



■第 249 回 C-GRAPHIC/TAIPEI 2020 年代台北のグラフィックデザイン

会 期： 2025 年 11 月 6 日（木）～2026 年 1 月 12 日（月）

入場者： 4,402 人、一日平均 82 人

現代の台湾・台北のグラフィックデザイン・シーンを代表する 10 組の若手デザイナーたちによるグループ展です。ゲストキュレーターの後藤哲也氏が漢字文化圏で活動するデザイナーを紹介した書籍『C-GRAPHIC INDEX』の内容をもとに構成し、デザイナーたちが台北という都市とどのように関わり、2020 年代カルチャーを形づくっているのか、言葉とビジュアルの両面から紹介しました。



■第 250 回 梅原真 LOCAL LOCAL—ないものはない—

会 期： 2026 年 1 月 20 日（火）～2026 年 3 月 22 日（日）

入場者： 4,206 人、一日平均 81 人

故郷の高知県を拠点に活躍するデザイナー、梅原真氏の個展です。梅原氏は、グラフィックデザインにとどまらずコピーや編集からプロデュースや経営など多岐にわたる活動を行い、地域創生の文脈で注目を集めてきました。梅原氏が地方のさまざまな人々との協働によって実現した代表的な仕事を、作家自身によるテキストとともに紹介しました。



3 教育・普及関連事業

(1) ギャラリートーク（セミナー）

ギャラリーでのトークイベント開催の他、YouTube で作家トークや解説動画等、注目クリエイターたちによる対談の音声コンテンツを配信しました。

ギンザ・グラフィック・ギャラリー（g g g）

- 「アイデンティティシステム」展ギャラリートーク
出演：カタリーナ・ズセック氏、イェンス・ミュラー氏
- 「2025 JAGDA 亀倉雄策賞・新人賞展」ギャラリートーク
- 亀倉雄策賞展 出演：服部一成氏、吉田ユニ氏、林規章氏
新人賞展 出演：岡崎智弘氏、城崎哲郎氏、サリーン・チェン氏、松田洋和氏
- 「田部井美奈展」ギャラリートーク
出演：田部井美奈氏、服部一成氏
- 「田部井美奈展」ギャラリーツアー
出演：田部井美奈氏、荒牧悠氏、大野友資氏、中原崇志氏
- 「日本のアートディレクション展 2025」ギャラリートーク
出演：北川一成氏、鷹野隆大氏
- 「日本のアートディレクション展 2025」ギャラリーツアー
第1回 出演：色部義昭氏、木住野彰悟氏、ADC 賞受賞者
第2回 出演：岡本学氏、小杉幸一氏、ADC 賞受賞者
- 「中村至男 オン グラフィック」展ギャラリートーク
出演：中村至男氏、服部一成氏
- 「中村至男 オン グラフィック」展ギャラリーツアー
出演：中村至男氏
- 「ポーランドの巨匠 ヤン・レニツァ」展ギャラリートーク
出演：アンナ・グラポフスカ=コンヴェント氏



京都d d dギャラリー（d d d）

- 「書藝問道：ブックデザイナー呂敬人の軌跡」展トークイベント
出演：呂敬人氏、佐藤篤司氏
- 「モダン・エキスポ・ポスターズ」展トークイベント
出演：引地耕太氏、花岡氏
- 「フェリックス・ベルトラン」展レクチャー
出演：ソニア・ディアス氏、ガブリエル・マルティネス氏
- 「C-GRAPHIC/TAIPEI」展ギャラリートーク
出演：後藤哲也氏、毛灼然氏、張溥輝氏、洪彰聯氏、盧奕樺氏、劉昱賢氏、牛子齊氏、葉忠宜氏、謝昕妮氏、楊喬然氏

- 「梅原真展」トークイベント
 - 第1回 出演：梅原真氏、原研哉氏、佐藤和志氏、鈴木輝隆氏
 - 第2回 出演：梅原真氏、小坂橋基希氏
 - 第3回 出演：梅原真氏、吉野敏充氏
- 「梅原真展」ワークショップ
 - 出演：高村典子氏



(2) ポッドキャスト音声番組配信

- 大原大次郎氏×大関泰幸氏（令和7年4月配信）
- 小玉文氏×宮後優子氏（令和7年5月配信）
- 吉田勝信氏×綾女欣伸氏（令和7年6月配信）
- 金井あき氏×佐々木拓氏×西山萌氏（令和7年7月配信）
- 中村至男氏×池田光宏氏（令和7年8月配信）
- 高田裕美氏×雪朱里氏（令和7年9月配信）
- 岡崎智弘氏×宮後優子氏（令和7年10月配信）
- 徐慧氏×迫村裕子氏（令和7年11月配信）
- 平山みな美氏×中村寛氏（令和7年12月配信）
- 朱心茹氏×伊藤亜紗氏（令和8年1月配信）
- 加瀬透氏×本田千尋氏×見増勇介氏（令和8年2月配信）
- 木龍歩美氏×雪朱里氏（令和8年3月配信）



(3) オンライン記事企画「デザインの両面」

- 田部井美奈氏（令和7年9月公開）
- 中村至男氏（令和7年12月公開）



(4) 親子向けワークショップ

親子向けワークショップ「夏休み・本で伝えるプロジェクト：親子でつくろう！たったひとつの動物図鑑」を開催しました。参加者からは好評をいただきました。

- 講師：高木毬子氏
- 第1回 7月26日 会場：京都 d d d ギャラリー 参加者：8組 14名
- 第2回 8月2日 会場：DNP銀座ビル 参加者：14組 33名



(5) 図録等の発行と頒布

令和7年度は以下の3点を発行しました。

ggg Books

- 『ggg Books 141 田部井美奈』

近年注目を集めるアートディレクター、グラフィックデザイナー、田部井美奈氏の「光と図形」シリーズやこれまでの代表作を紹介。

19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）

- 『ggg Books 142 中村至男』

1990年代から活躍するグラフィックデザイナー、中村至男の初期から現在にいたる代表的な仕事を紹介。

19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）

- 『ggg Books 143 ヤン・レニツァ』

ポーランドを代表するグラフィックデザイナー、ヤン・レニツァによるポスターやイラスト、舞台デザインなどさまざまな作品を紹介。

19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）



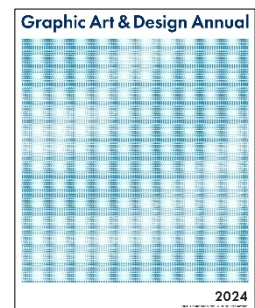
(6) アニュアルレポート

令和6年4月から令和7年3月までの活動をまとめたアニュアルレポート『Graphic Art & Design Annual 2024』を発行しました。

表紙デザイン：南塚也氏

序文：呂敬人氏「現代中国ブックデザインの変遷」

A4 変型判、92 ページ、非売品



4 国際交流関連事業

(1) ポーランド・グラフィックデザイン財団イベント The Design Showcase 2025 に参加

ポーランド・グラフィックデザイン財団主催の国際交流イベントが2025年10月23日から10月26日まで、ワルシャワで開催され、財団スタッフが招待されました。ポーランド人クリエイターのレクチャーや各国参加者の活動報告、文化施設見学会などに参加しました。



(2) ローマ「象徴としての食」展開催

2025年11月17日から2026年2月13日まで、ローマ日本文化会館で「象徴としての食」(Iconico Cibo)展が開催されました。2020年にCCGA、京都dddで開催のポスター展「食のグラフィックデザイン」をもとに企画された、ケルン、ベルリンからの巡回展です。



(3) ポローニャ考古学博物館「グラフィック・ジャパン：北斎からマンガまで」展に協力

2025年11月20日から2026年4月6日まで、ポローニャ考古学博物館（イタリア）で「グラフィック・ジャパン：北斎からマンガまで」(Graphic Japan. From Hokusai to Manga)が開催されました。財団は、ポスターアーカイブから19作家のポスター計61点を貸し出しました。



(4) ベルリン「横尾忠則—ポスターアート：1965-2025」展に協力

横尾忠則氏の個展が、2025年11月29日から2026年4月30日までベルリン視覚芸術センター（The Center for Visual Arts, Berlin）で開催されました。財団を通じて横尾氏から寄贈されたポスターの中から約150点が出品されました。



(5) コペンハーゲン「Japan Modern Poster」展に協力

2026年2月6日から8月9日まで、デンマーク・デザインミュージアムで「Japan Modern Poster」展が開催されています。財団は、ポスターアーカイブから48作家の作品110点を貸し出した他、共催としても名を連ねています。



5 研究助成関連事業

(1) 2025年 グラフィック文化に関する学術研究助成

令和7年度は下記の要領で実施し、新規採択12件、継続助成6件、計867万円の助成金を交付しました。

募集テーマ： A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間： 令和7年4月1日～6月16日

助成対象： 研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

応募数： 87件

(A部門 国内56件・海外12件／B部門 国内16件・海外3件)

選考： 令和7年7月～9月 一次審査(申請書類による書類審査)

令和7年9月29日 二次審査(DNP銀座ビルにて)

採択研究： 新規採択12件(助成総額590万円)

継続助成6件(助成総額277万円)

詳細は次頁参照

審査委員： 井口 壽乃 埼玉大学名誉教授、NPO 法人デザイン史リサーチセンター東京 理事長

加治屋 健司 東京大学大学院教授

菊池 裕子 元 ヴィクトリア&アルバート博物館 学術部長

建畠 哲 京都芸術センター館長

永原 康史 グラフィックデザイナー

並木 誠士 京都工芸繊維大学特定教授、京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長

前田 富士男 慶應義塾大学名誉教授

※五十音順、敬称略、令和8年3月末時点



●令和7年度採択研究（12件）

No.	部門	研究テーマ	研究者	1年目助成額	継続
1	A	「空間から環境へ」展(1966)と「モザイク」(1967)におけるグラフィックデザイナーの実践について	鯉沼 晴悠 京都工芸繊維大学大学院/金沢工業大学五十嵐威暢アーカイブ博士後期課程/学芸スタッフ	500,000円	
2	A	1900-1930年代の日本と西洋におけるテキスタイルデザインと絵画との交錯	横山 由季子 東京国立近代美術館 研究員	500,000円	○
3	A	東松照明による映像フィルム《ヒコーキ》(1960年)に関する調査研究	荒木 智子 東京藝術大学 教育研究助手	500,000円	○
4	A	岡田紅陽の北海道景勝地写真群に関する研究	田中 祐未 北海道博物館 学芸員	500,000円	○
5	A	石版画家・波々伯部金洲に関する調査研究	藏田 愛子 大阪大学 大学院人文学研究科芸術学専攻 助教	500,000円	○
6	A	日本近代絵本のグラフィック的特質と韓国初期絵本への影響—明治から昭和前期までの印刷技術および文化の融合過程を中心に—	仁美・坂部 弘益大(韓国) 准教授	500,000円	○
7	A	近代日本の本草博物学と美術工芸—博物学者田中芳男の輸出工芸図案をめぐって—	阿部 大地 佐賀県立図書館 主査(学芸員)	500,000円	○
8	A	ベン・シャーンとジョージ・ナカシマ:「第1回ジョージ・ナカシマ展」出品のベン・シャーン版画作品の調査研究	濱田 洋亮 福島県立美術館 学芸員	500,000円	○
9	B	朝倉摂が描いた新聞小説挿絵に関するアーカイブ構築とその分析	児島 薫 実践女子大学 教授	500,000円	
10	B	ファッション写真と人権意識—視覚表象から読み解く社会の変容	村上 由鶴 秋田公立美術大学 助教	400,000円	○
11	B	土門拳の旧蔵資料および作品掲載誌に関するアーカイブ構築	田中 耕太郎 土門拳写真美術館 学芸員	500,000円	○
12	B	希少雑誌『広告界』(1926-1941年)全冊・全頁の基礎的デジタルアーカイブの構築	竹内 幸絵 同志社大学 社会学部メディア学科 教授	500,000円	○

令和7年度新規採択研究 助成金交付額 5,900,000円

●令和6年度からの継続助成（6件）

No.	部門	研究テーマ	研究者	交付額 下段は昨年度交付額
1	A	1960年代から1980年代のコンセプトual・アーティストが制作したアーティスト・ブックの動向研究	長島 聡子 大邱大学校 助教授	400,000円 (500,000円)
2	A	エリザベス・トマリンにみるレジリエンスの表象：グラフィックデザインからアートセラピーへの領域横断的実践	菅 靖子 津田塾大学 教授	500,000円 (500,000円)
3	A	ゲーテ『光学論考』（1791年）におけるグラフィック教材を用いた色彩学習の構想と再現	山根 千明 慶應義塾大学 グローバルリサーチ インスティテュート 共同研究員	500,000円 (500,000円)
4	A	1966年から1972年にかけての矢頭保写真集の視覚的・文字的分析	ムニョス シレス ガストン フアン アリウエン 早稲田大学 大学院国際コミュニ ケーション研究科 博士課程	370,000円 (480,000円)
5	A	富山妙子《ハルビン・21世紀へのレクイエム》(1995)に描かれた戦争、トラウマ、祈り	清水 冴 インディペンデント・キュレー ター	500,000円 (500,000円)
6	B	点字制定以前における視覚障害者用文字に関する資料の調査：電子化とデータベース作成による公開の試み	飯塚 希世 お茶の水女子大学 図書・情報課 事務補佐員	500,000円 (500,000円)

令和6年度からの継続助成 助成金交付額合計 2,770,000円

合計 8,670,000円

(2) 令和7年度協賛助成実績 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	対象	主催	年月	金額	備考
1	第36回田善顕彰版画展へ協賛	須賀川商工会議所青年部	2026/2	50,000円	須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善顕彰を目的とする、須賀川市内小中学生対象の版画コンクール。例年継続。

(3) 会員参加

当財団は、以下の団体の会員となっています。

1. 東京イラストレーターズ・ソサイエティ / 賛助会員
2. 東京アートディレクターズクラブ / 賛助会員
3. 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 / 賛助会員
4. 東京タイプディレクターズクラブ / 法人・団体会員
5. 公益財団法人助成財団センター / 会員
6. 東京アート&ライブ構想実行委員会 / 会員

6 会議の開催

●第43回理事会 (令和7年5月29日)

理事会決議の省略の方法による(定款第37条第2項)

提案(1) 令和6年度事業報告および計算書類等の承認について

提案(2) 定時評議員会の招集について

●第18回 評議員会 (令和7年6月18日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1
およびオンライン会議システム(T e a m s)

第1号議案 議長の選任について(決議事項)

第2号議案 議事録署名人の選出について(決議事項)

第3号議案 令和6年度事業報告について(報告事項)

第4号議案 令和6年度計算書類等について(決議事項)

●第44回 理事会 (令和7年6月18日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1
およびオンライン会議システム(T e a m s)

第1号議案 令和6年度利益相反取引の承認について(決議事項)

第2号議案 理事長および専務理事の業務執行状況について(報告事項)

●第45回理事会 (令和7年9月30日)

理事会決議の省略の方法による(定款第37条第2項)

提案 事務局長選任の件

●第46回理事会 (令和8年3月11日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1
〔決議事項〕

第1号議案 令和8年度 寄付金の受入について(決議事項)

第2号議案 令和8年度 事業計画、予算計画について(決議事項)

第3号議案 令和8年度 利益相反取引の承認について(決議事項)

第4号議案 令和8年度 資金調達及び設備投資の見込みについて(決議事項)

第5号議案 理事候補者の推薦について(決議事項)

第6号議案 評議員選定委員会の事務局委員の選任について(決議事項)

第7号議案 研究助成審査委員の選任について(決議事項)

第8号議案 審査委員会規程の一部変更について(決議事項)

第9号議案 令和7年度研究助成プログラムの助成金交付について(決議事項)

第10号議案 令和8年度協賛計画について(決議事項)

〔報告事項〕

理事長及び専務理事の業務執行状況について(報告事項)

以上